

新登場

エンターテインメント・ギア **レブル**

REBEL SPECIAL

HONDA®

お、めかしこんだね。

レブル・スペシャル。

白いタキシードを着たレブルだ。シリンダーヘッドカバーやリアフェンダーステイ、なんとホーンまで金色メッキでしゃれのめす。泣かせるのはタンクに描かれたアラベスクとロゴマーク。ホンダ独自の技法でひとつひとつ手づくりで仕上げるまさにカスタムの極致。レブル・スペシャルは男の一張羅。さ、気どりまわって街に出ようぜ。



街はパラダイス。レブルはめだつ。 スペシャルな時を楽しむヤング&ラディカルのために。

非常識な低シート &ロングホイールベース。

660mmのシート高はスクーター並に低い。両足ベッタリ地面につく。だからとっても乗りやすい。大きなサドル型シートにどっかと腰をすえ前方に手を伸ばすと、そこにブルバックハンドルがある。ゆったり気楽な姿勢となる。いったん走りだせば乗心地は極上。これはナナハン並のロングホイールベース(1460mm)と絶妙なサス設定により実現している。

味のあるエンジンスタイル。

空冷4サイクルOHC2気筒。金色で飾られたヘッドカバー、アルミ合金のフィン、クランクケース、クラシカルな排気管が演奏する音楽はマッチョなイメージで力強い。いかにも機械機械した肌合いがレブルらしい。ミッションはスムーズな5段リターン。加速ポンプつきCVキャブで、レブルは痛快に走る。走ってなお燃費はリッター55kmとこれまた立派。

※50km/h定地走行テスト値

●ゆったりライドのブルバックハンドル。

●薄めだが座り心地は良好。
サドルタイプのソーベースシート。

●アラベスク模様でうれし泣き。
ティアドロップタンク。(容量10ℓ)

●快適な乗心地の仕掛人。
2段切換リアダンパー。

●アスファルトにびったりフィット。
ぶっといリアタイヤ。(130/90-15 66P)

金属を多用しながら、 重くないから不思議だ。

重厚かつ華麗。レブルは全身ほとんど金属でできている。要所要所は金色メッキとクロームメッキでドレスアップしている。にもかかわらずレブルは重くない(乾燥重量137kg)。これは軽量コンパクトなエンジンと軽量高剛性のセミダブルクレードルフレームの採用により成し得たのである。この軽さがレブルの乗りやすさと軽快な走りを生んだ原動力だ。

●1人中にひとつ、一服メーター。
必要最小限の情報をシンプルにまとめた。

●小さくても強いレブルの目。
金色でふちどりされた丸型ハロゲンヘッドライト。

●レブルの個性を強調。
ねかしこんだフロントフォーク。

●止まるときも高性能。
デュアルピストンキャリバーディスクブレーキ(前)。

SPECIFICATIONS

型式	MO13
全長(m)	2.115
全幅(m)	0.815
全高(m)	1.100
軸距(m)	1.460
最低地上高(m)	0.140
シート高(m)	0.660
車両重量(kg)	147
乾燥重量(kg)	137
乗車定員(人)	2
燃費(km/ℓ)	55.0(50km/h定地走行テスト値)
最小回転半径(m)	2.6
エンジン型式	MO10E(4サイクルOHC2気筒)
総排気量(cc)	233
内径×行程(mm)	53.0×53.0
圧縮比	9.2
最高出力(PS/rpm)	21/8,500
最大トルク(kg-m/rpm)	2.0/7,000
キャブレター型式	VE08
始動方式	セルフ式
点火方式	CDI式
潤滑方式	圧送飛沫併用
潤滑油容量(ℓ)	1.8
燃料タンク容量(ℓ)	10
クラッチ型式	連式多板コイルスプリング
変速機形式	常時噛合式5段リターン
変速比 1速	2.846
2速	1.777
3速	1.333
4速	1.083
5速	0.913
減速比 1次/2次	3.631/2.285
キャスト(度)	32°00'
トレール(mm)	120
タイヤサイズ 前	3.00-18-4PH
後	130/90-15 66P
ブレーキ形式 前	油圧式ディスク
後	機械式リーディング・トレーリング
懸架方式 前	テレスコピック
後	スイングアーム
フレーム形式	セミダブルクレードル

スペシャルの車体色はパールサテンホワイト
※定地燃費は定められた試験条件のもとでの値です。したがって、走行時の気象、道路、車両、整備などの諸条件により異なります。
※本仕様は改良のため予告なく変更する場合があります。
※車体色は印刷のため実物と多少異なる場合があります。

標準現金価格 **¥349,000**
(北海道、沖縄および一部離島を除く)



お求めはこのマークのお店へどうぞ。



HONDA

本田技研工業株式会社

東京都渋谷区神宮前6-27-8

REBEL-S-K-504(株)

HELLO! GOOD RIDER

身につけよう。安全走行のためのルールとマナー。

- ヘルメットを正しくかぶりましょう。
- 点検整備を忘れずに。
- 安全のため改造はやめましょう。
- 心にゆとりのもてるスピードで走りましょう。
- カーブではスピードをひかえめに。
- 追越しは余裕をもって。
- 自分を目立たせるため、早朝・夕方「ヘッドライト早め点灯」を。